

## N8103-128/G128/134/135 RAID コントローラ

### iStorage NS300Rb/NS500Rb

## ご使用時の注意事項

以下に本製品使用時の注意事項を示しますので、ご一読いただきますようお願いいたします。

### 1. 注意事項

N8103-128/G128/134/135 RAID コントローラにて作成された論理ドライブが縮退した際に本体装置の電源がOFFの状態ではディスクを交換した場合、RAID コントローラの仕様により自動でリビルドは動作しません。

そのため、本体装置の電源投入後、マニュアルリビルドによる復旧が必要となりますが、手順を誤ると構成情報が消失し、データロストする危険があります。

電源 OFF 時にディスクを交換した際には、必ず3項の作業手順を徹底していただきますよう お願いいたします。

なお、電源 ON の状態でホットスワップによりディスク交換した場合は、正常に自動でリビルドが開始されますので問題ありません。

また本件は、FW:5.01.0070.10 以降にて修正を予定しております。

### 2. 対象となるケース

N8103-128/G128/134/135 RAID コントローラにて作成された論理ドライブが縮退し、本体装置が電源OFFの状態ではディスクを交換する必要があるケース

※ホットスワップ未対応装置でディスク交換するケース、ホットスワップ対応装置でもディスクのホットスワップをせずにディスクを交換するケースなどが該当します。

### 3. リビルドによる論理ドライブ復旧作業手順

ディスク交換後は、必ず”SuperBuild Utility”からのマニュアルリビルドによる、論理ドライブの復旧を行ってください。

※Universal RAID Utility でマニュアルリビルドを行うことはできません。

## 参考) SuperBuild Utility によるマニュアルリビルド手順

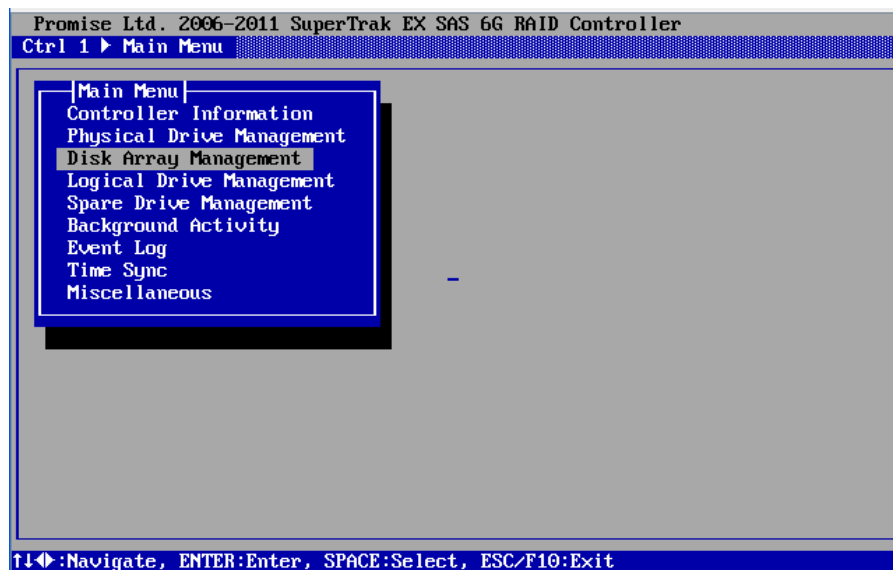
- (1) 本体装置の電源を投入し、下記の POST 画面が表示されたら、「Ctrl+S」を押し、「SuperBuild Utility」を起動します。



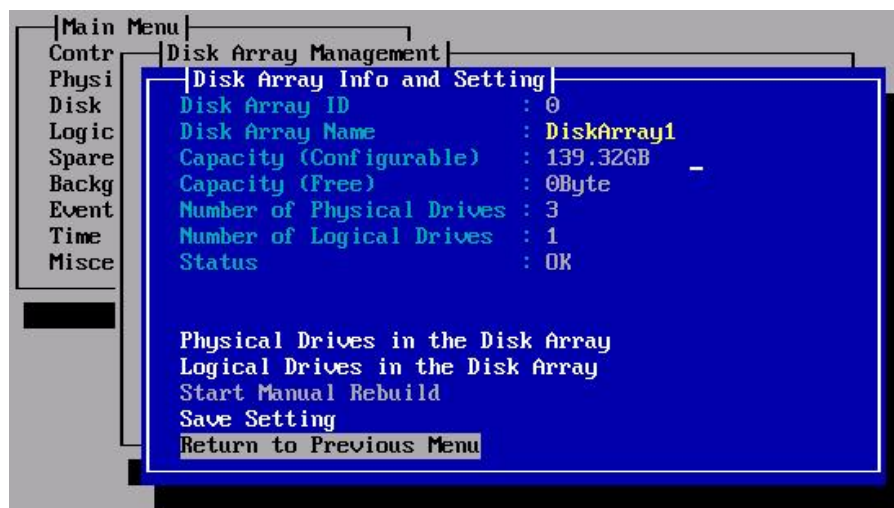
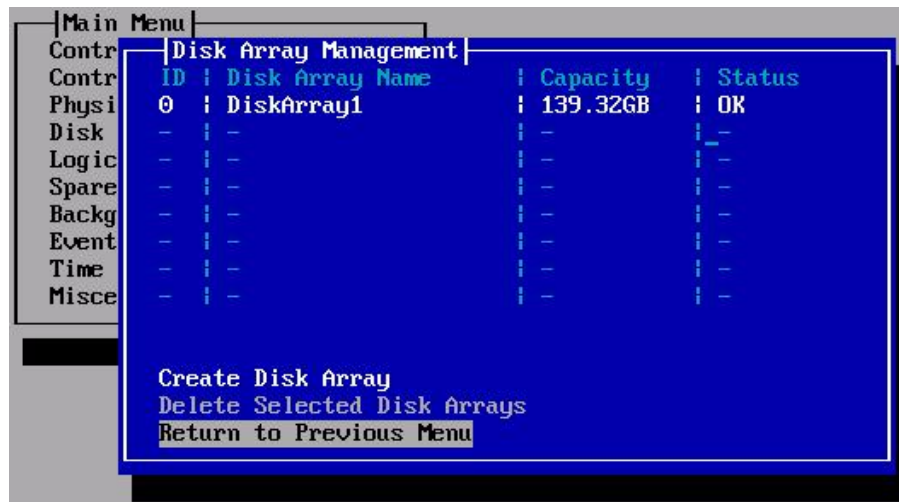
※上記画面が一瞬表示された後、RAID コントローラのクリティカルブート機能による本体装置の再起動が行われることがあります。

その場合は、再起動後、「Ctrl+S」を押し、「SuperBuild Utility」を起動させます。

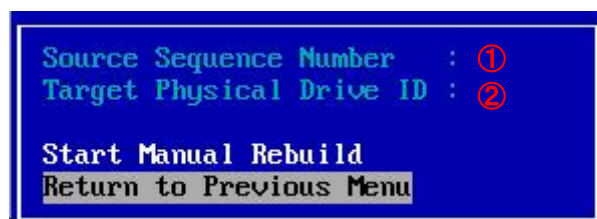
- (2) [Main Menu]→[Disk Array Management]を開きます。



- (3) 作業対象となるディスクアレイを選択し、[Enter]キーで開きます。



- (4) “Start Manual Rebuild”を開きます。“Start Manual Rebuild”はリビルドの対象ディスクアレイに構成されている論理ドライブのステータスが Critical または Degraded の場合に表示されます。



①Source Sequence Number と②Target Physical Drive ID をそれぞれ入力し、“Start Manual Rebuild”を選択することでマニュアルリビルドが実行されます。

リビルド開始後、システムを再起動し OS を起動しても問題ありません。

なお、リビルドの進捗は SuperBuild Utility では、Background Activity より、OS 起動後は Universal RAID

Utility の「オペレーションビュー」より確認できます。

※①, ②の値は以下の「Physical Drive Information」で参照することができます。

「Main Menu」の「Physical Drive Management」でリビルドさせたいディスク(Status が Dead)を選択後、Enter キーを押して「Physical Drive Information」を表示させます。

| Main Menu |                           |                     |           |        |
|-----------|---------------------------|---------------------|-----------|--------|
| Contr     | Physical Drive Management |                     |           |        |
| Physi     | ID                        | Model Name          | Capacity  | Status |
| Disk      | 1                         | SEAGATE ST9146803SS | 33.74 GB  | Dead   |
| Logic     | 2                         | SEAGATE ST9146803SS | 33.74 GB  | OK     |
| Spare     | 3                         | SEAGATE ST9146803SS | 33.74 GB  | OK     |
| Backg     | 4                         | SEAGATE ST9146803SS | 33.74 GB  | OK     |
| Event     | 129                       | ST9500530NS         | 465.63 GB | OK     |
| Time      | 130                       | ST9500530NS         | 465.63 GB | OK     |
| Misce     | 131                       | ST9500530NS         | 465.63 GB | OK     |
|           | 132                       | SEAGATE ST9146803SS | 33.74 GB  | OK     |
|           | Return to Previous Menu   |                     |           |        |

| Physical Drive Information |                      | ②Target Physical Drive ID |
|----------------------------|----------------------|---------------------------|
| Physical Drive ID :        | 1                    |                           |
| Model Number :             | SEAGATE ST9146803SS  |                           |
| Serial Number :            | 3SD177HZ00009006ULT0 |                           |
| Firmware Version :         | N005                 |                           |
| Drive Interface :          | SAS 6Gb/s            |                           |
| Protocol :                 | SPC-3                |                           |
| Capacity :                 | 33.74 GB             |                           |
| Location :                 | Encl 1 Slot 1        |                           |
| Configuration :            | Array 0 SeqNo 0      | ①Source Sequence Number   |
| Status :                   | Dead                 |                           |
| Clear Status               |                      |                           |
| Force disk to online       |                      |                           |
| Return to Previous Menu    |                      |                           |

※上記の例では ①Source Sequence Number が「0」、②Target Physical Drive ID が「1」です。